進学塾アペックス

アペックス便り11月号月号

令和８年 11月吉日

秋も深まり、11月を迎えました。文化の日をはじめ、教育や文化に目を向ける機会の多い月です。学ぶことは、知らなかったことを知り、できなかったことが少しずつできるようになること。そんな小さな変化を大切にしたい季節です。

おしらせと今月の行事予定

※　塾長の[半生記]が出版されました。
ご興味のある方は、頒価1000円で入手できますので、お声がけください。
※下旬より、学校の進学懇談会に不安が有る生徒を対象に、個人懇談を実施します。該当者は事前予約の上、しっかり対策を立てて、学校懇談を乗り切ってください!!

今月の予定

●10/29, 30, 31日…全休講
（年間調整日）
○11/28日土（全国テスト）
※中旬以降…中3生対象の
進学懇談（希望者）のみ
※学校の進学懇談に不安の有る者は、必ず事前予約の上、方針と対策を講じて相談し臨む様にしてください。



●できるようになるとは…　塾長の呟きブログ

11月になると、教室の空気も少しずつ変わってきます。受験生にとっては、模試やテストの機会が増え、志望校をより具体的に考える時期でもあります。数字や判定を目にする機会が増えると、「前よりできるようになった」と感じることもあれば、反対に「思ったほど伸びていない」と感じることもあるでしょう。
10月号では、「不安は敵ではない」という話を書きました。不安になるのは、それだけ自分の未来について真剣に考えているからです。不安をなくしてから前に進むのではなく、不安を抱えたままでも、今日やるべきことに向き合っていく。そのことが大切なのだと思います。では、その一歩を重ねていった先に、何があるのでしょうか。私は、子どもたちの成長を見ていて、時々不思議に思うことがあります。
「できるようになった瞬間」というのは、案外、本人には分からないものです。
昨日まで解けなかった問題が、ある日突然解けるようになる。そういうこともあります。しかし、多くの場合は、少し考えられるようになり、途中まで進めるようになり、間違い方が変わり、もう一度やってみようと思えるようになる。
そうした小さな変化が積み重なった結果として、ある時ふと「前よりできるようになっている」と気づくのです。だから、成長というものは、いつも分かりやすい形で現れるわけではありません。
テストの点数が上がることは、もちろん一つの成長です。けれど、それだけではありません。以前ならすぐに諦めていた問題を、もう少し考えてみるようになった。間違えた問題を、そのままにせず解き直すようになった。苦手な科目から逃げずに、少しずつ向き合えるようになった。先生に言われる前に、自分から質問できるようになった。そうした変化もまた、大切な「できるようになった」の一つです。そして、こうした変化は、本人よりも周りにいる人の方が先に気づくことがあります。
毎日見ていると分からないけれど、少し前の姿を知っている人から見ると、「ずいぶん変わったな」と感じる。子どもの成長には、そういう時間があります。だからこそ、今の結果だけを見て「まだ伸びていない」と決めつけないことも大切なのだと思います。もちろん、受験が近づけば、現実的な数字を見る必要があります。模試の結果から課題を見つけ、できなかった問題をやり直し、次の学習につなげていくことも大切です。模試は、今の自分を知るための一つの材料です。結果そのものよりも、そこから何を学び、次に何を変えるのかが大切なのだと思います。
しかし、成長のすべてが数字に表れるわけではありません。
数字に表れる前に、人の中ではすでに何かが変わり始めていることがあります。「できなかった」ことに向き合う力。「もう一度やってみよう」と思う力。昨日の自分より少しだけ前に進もうとする力。それらが積み重なって、やがて結果にも表れてくる。だから、今すぐ大きな変化が見えなくても、焦る必要はありません。大切なのは、今日の一問を大切にすること。昨日できなかったことを、今日もう一度やってみること。
そして、できるようになった小さなことを、自分自身で認めてあげることです。受験生にとって、これからの時間は決して長くありません。
だからこそ、「まだできないこと」だけを見るのではなく、「少し前にはできなかったけれど、今はできること」にも目を向けてほしいと思います。成長とは、ある日突然、自分が別人になることではありません。
昨日の自分に、ほんの少し今日の自分が加わっていくことです。そして、その小さな変化を積み重ねていった先に、気がつけば、以前の自分には見えなかった景色が見えている。11月は、そんな自分自身の変化に、少しだけ目を向けてみる月にしてほしいと思います。焦らなくてもいい。立ち止まってもいい。それでも、また一歩進めばいい。その一歩一歩が、冬へ向かうこれからの時間を、きっと支えてくれるはずです。